

議会広報広聴委員会記録

令和6年1月15日（月）
13時28分～14時55分
全員協議会室

【出席者】 村武委員長、村木副委員長、
肥後委員、大谷委員、三浦委員、沖田委員、川上委員、上野委員、
西田委員、川神委員

【議長団】 笹田議長

【事務局】 下間局長、村山書記、小寺主事

議題

1 島根県立大学生との意見交換会について……………資料1

(1) 当日の流れの確認

(2) その他

2 議会だよりの紙面の見直しについて……………資料2

(1) 議会だよりの紙面を見直す

(2) その他

3 はまだ議会だよりminiについて……………資料3

(1) 第27号掲載内容及び原稿担当

(2) その他

4 議会報告会について……………資料4

(1) 議会報告会の実施の検討

(2) その他

5 その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[13 時 28 分 開議]

○村武委員長

ただいまより議会広報広聴委員会を始める。出席者は現在9名、川神委員は少し遅れるとの連絡を受けている。定足数に達しているので進める。

1 島根県立大学生との意見交換会について

(1) 当日の流れの確認

○村武委員長

大学生からの質問事項が先日届いた。ゼミの角先生と岡山氏とも先日打合せをした。最初は大枠なテーマでこちらも考えていたのだが、大学生が冬休みに色々な質問を考えてくれて細かになっている。こういった形で質問をまとめている。皆にも意見交換のグループを伝えているが、島根県立大学生と議員のグループで県立大学生は3人、議員は4人になっている。議員は委員会などで振り分けている。

質問内容は確認いただいていると思うが、これに対して意見はあるか。

○川上委員

見ると財政が絡むことがたくさん書いてあるが、議員は財政までは言えないことを理解してくれているだろうか。

○村武委員長

先日、角先生と打合せした。議会に執行権はないため言えるところと言えないところがあることは、角先生から大学生へ伝えてもらえるとのことである。当日の質問にその場で答えられることは答え、もしも後日何かしら答えがどうしても欲しいということがあれば、個人的に答えていただければ良いと考えている。

○川上委員

できれば当日スタート時に先生から、私ども議員の仕事について説明いただき、執行権がないから財政については答えられないと明確にしてほしい。

○村武委員長

当日、この会が始まる前に角先生に伝えたい。ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

(以下、資料を基に当日の流れについて説明)

これに対して何かあるか。

○大谷委員

報告書については、この意見交換会はこういう意見が出たというだけで良いのか。

○村武委員長

はい。

○大谷委員

以前の地域井戸端会のように、出た意見に対してこう回答したとか、このように受

け止めていくとかいった議員側の記録は、どの程度なのか。

○村武委員長

そこまでは考えてないのだが、皆から何か意見があるか。

○川上委員

回答または答弁、または問題提起したといったことを少しは加える必要があるのでは。そうしないと単なる報告書に終わってしまい先へ進めない。

○村武委員長

大谷委員もそういう意見か。

○大谷委員

出た報告書を第三者が読まれたときに、このような内容でこのような雰囲気であったのだろうと想像できる程度の簡略なもので良いと私は思うのだが、それで良いか。

○村武委員長

私もそれで良いと思う。出た意見にこのように議員が答えたという細かいことまでは良いが、内容が大体分かるような報告書であれば良いと思う。

○大谷委員

すると報告書の内容はA4で1枚もしくは2枚以内という理解で良いか。

○村武委員長

大丈夫だと思う。

○川上委員

学生から出た意見が報告書に載ってないといったことが出てくる可能性もあるので、始めから「全ての発言が報告書に載るわけではない」と断ってほしい。

○村武委員長

報告書に全て書くのは難しいので、そこは事前に大学生に伝えたい。これはあくまでも大学生が何を考えているか、意見を聞くのが重要だと思っているので、そのように理解してもらえたらと思う。ほかにあるか。

(「はい」という声あり)

当日は10時40分から始まるが、議員の集合時間は10時半くらいを考えている。10分前でも大丈夫だろうか。

○村山書記

10分前で問題ないかと思う。補足だが、駐車場が全て込みで13台分しかないので、乗り合わせの上で来てもらえればと思う。よろしくお願いします。

○村武委員長

会場のセッティングはどうなっているか。

○村山書記

事務局が事前に行ってファンタスと一緒に準備しようと思っている。

○村武委員長

10時30分までには必ず来てもらうようお願いしたい。

(2) その他

○村武委員長

これに関して、その他何かあるか。

(「なし」という声あり)

2 議会だよりの紙面の見直しについて

(1) 議会だよりの紙面を見直す

○村武委員長

村山書記から説明をお願いします。

○村山書記

(以下、資料を基に説明)

○村武委員長

忙しい中こうして意見を出してもらい感謝する。出してもらった方から一人ずつ、補足など説明いただきたい。新紙面企画と現掲載内容見直しという二つに分かれているが、両方に係ることもあると思うので両方お願いします。

○村木副委員長

新企画については「今のままで良い」とのことなので載せなくても良かったかもしれないが、一応県内他7市とこの1年で行った先進地視察先の議会広報誌を拝見したところ、特段浜田市議会の広報に問題があるようには思わなかった。ただ、政務活動費や全員協議会、視察の受入れについて載せているところがあった。

見直しについては、まず2色刷りである。経費削減や、より見やすくということ考えると2色刷りという選択があるかと思っている。表紙がカラーでほかのページが2色刷りのところは結構多かった。個人一般質問のところに二次元コードを入れるのはやはり必要と思っている。中身も中項目まで書き入れているところがあった。

最後に読み上げ。使ってみたが機能しなかったところがあったので、読み上げをしたらどうかと思った。

○大谷委員

市民対談を所管事務調査もしくは委員会視察の内容へという部分だが、これまでも各委員会活動報告についてはされてきているが、字数の都合上、このような内容でやったという程度の報告しかできてない。詳しく紙面を割いて、このような活動をして、あるいは視察はこのような好例を参考に持ち帰ったなどといったことを取り上げてみてはどうかと思う。全ての委員会なり所管事務調査を取り上げるのは難しいだろうが、委員会内で題目を選定して取り上げると、市民に議会活動が深掘りした形で情報提供できると思った。

もう1点、個人一般質問のところでQRコード云々について方向性は良いかと思うが、例に挙げた出雲市議会は、あらゆる場面から、例えば個人一般質問のサイトへ誘導できる仕組みになっていた。まずはまだ議会だより（以下、議会だより）の紙面をいじるのであれば、ホームページの内容をより使いやすくするほうが優先だと思った。

○村武委員長

大谷委員、最初に言われた内容は、市民対談のページを変えるということで良いか。

○大谷委員

基本的にはその方向かと思う。紙面を作るためには何かをカットしなければいけないという意味では、市民対談が差し替えやすいと思った。しかしそこでなければいけないということではない。

○三浦委員

現在の議会だよりの紙面を見直すところからだが、「ここがポイント」はトピックスと内容が重複している部分がある。最近では意識して改善されているように思うが、少し整理が必要である。

「市民対談」だが、議会としてなぜその人たち取材しているのかという表現があまりできてない。したがってそこを改善するか、もしくは市民の方々が今関心を持っているテーマを掲げて、各議員がそれに対してどう思っているかという紙面構成にするほうが、市民に各議員の考えが分かりやすいように思う。

「委員会活動レポート」は、先ほど大谷委員も言われたが、伝え切れてない部分がたくさんあるように思う。委員会審査のやり取り、議員間討議、視察報告などをもう少しボリュームアップするといったことを考えたほうが良い。

現在「一般質問」が紙面を大きく占めているので、議会全体の動きを伝える議会だよりの機能としては、やはりバランスが悪いとは前から思っている。動画への誘導を含めて少しページ削減を図ることも検討すべきではないかと思う。

それを受けて、今後、議会だよりをどのように見直したら良いか。現在冊子型で16ページになっている。真ん中を閉じる形で大判を表裏刷る形態に変えて予算削減を図れないかと考えてみた。0.5や1はページの想定である。定例会議の様子、トピックス、表決など載せなければいけないことは変わらず、一般質問も概要等にとどめれば多くは必要ない。議員がどう考えているかはしっかり設けて、委員会活動レポート、ぎかいポスト、事務連絡、ぎかいポストの返答などを考えると、8ページ相当に収まると考えてみた。

紙面デザインだが、請負業者が1年ごとに変わる。1回この間にも業者が変更したことがあったが、その際にデザインの踏襲が難しかった。請負業者がデザインしたもので、データをそのまま引き渡せなかったという課題があった。こういったものは複数年で契約できるのか、でなければ毎年基本的には紙面をリニューアルすることになる。事業者との契約などはどうなるか。最初に発行するまでの時間が少なかったりする点も含めて整理する必要と思う。

加えて、これも大谷委員が指摘されたが、ホームページとの連動は必ず要る。例えば委員会活動レポートを削減するなら、産業建設委員会の視察レポートを丸々1ページ取る。すると掲載できない委員会活動が出てくる。だからといって委員会活動レポートを書かなくて良いのではなく、書いたものをウェブや議会だよりminiに載せるなど、ほかの発信ツールとの併用できちんと報告することもやらないと、議会だよ

りの紙面は限られているので、基本的に全部を載せるのは難しい。優先順位を付けながら市民に分かりやすく情報のホットトピックスを伝えていく。そういう編集方針が良いのでは。

○村武委員長

川神委員からは、新しい企画として「浜田の今を切る」という企画名で、現在市民の関心が集まる施策に関して市民アンケートを実施。例えばスマホアンケート機能を使えば、テーマを選定して地域集会を開催し、その意見を紙面にアップ、さらに全議員の視点を記事に併記とのことである。

もう一つ、個人一般質問については一般質問項目は大項目と中項目で、あとはYouTube動画でQRコードのみで掲載。

以上、5名から提案をいただいた。すぐに取り組めるものもあるとは思いますが、時間を掛けて考えていかないといけないものもある。予算の削減に関しては令和7年度からなので、例えば三浦委員から提案いただいた件は時間を掛けて検討していかないといけない。今出た提案内容について質問や意見をいただきたい。

○川上委員

令和7年度から削減しなければならないと言われたが本当か。

○村武委員長

削減しなければならないというのは言い方が悪かったかもしれない。印刷費が高騰していることをしっかり考えていかないといけない。書記から説明してもらえるか。

○村山書記

配信した資料を確認してほしい。これは議会運営委員会に提出した資料であるが、議会運営費の中の「印刷製本費」で議会だよりの費用を見ている。令和5年度から6年度でおよそ1割、同じものを作るに当たっての費用が上がってきている。この先も費用が上がっていくと、全体の枠組みは決まっているのでそこからまた調整していかなければいけない。その一つとして紙面の見直しが議題として上がってくるかと思う。

○川上委員

高くなるから下げたほうが良いという話になると思う。特段シーリングが掛かったわけではないので、高くなれば高くなっただけの予算要求をすれば良い話である。議会をないがしろにする考え方をせず、議会なりの働きをしっかりと見せれば、別段議会費は高くなっても問題ない。問題視されるのは議会が動いているかどうか皆に見えてないからであって、しっかり議会が動けば問題ない。したがって、下げるといった話をしないほうが良い。

○村武委員長

物価高騰は仕方がないと思うが、川上委員が言われるように議会だよりは、我々浜田市議会にとって重要である。物価高騰したからといって予算を削減するのではなく予算を通してほしいというところはあるが、見直しができることもあると思うので、そこを併せて検討していきたいと考え、皆から提案をいただきたい。

○川上委員

文言を見直す方向で少し考えようということであって、直す内容については今回こうして資料をいただいたので、それを基に逐次考えていけば良いということか。

○村武委員長

はい。それと併せて、5月号から直せるところがあれば取り掛かっても良いとは感じている。例えば今提案いただいた中で、これは5月から見直しできるかもしれない、などといった皆の個人的な意見をいただけたらと思うのだがいかがか。

○川上委員

今まとめなくても、2月19日にまた議会広報広聴委員会があるので、そのときでも良いのでは。

○小寺主事

2月19日の議会広報広聴委員会で5月1日発行の議会だより紙面にどういったものを掲載するか協議する予定なので、それに向けて、今こうして見直し案を出してもらっている。「これはやるべきかどうか」といった意見を皆からいただければ、それを基にV o 1. 73の紙面構成について正副委員長と事務局とで協議した上で、2月19日にお示しできればと考えている。見直し内容について皆の意見がいただければと思う。

○村武委員長

したがって5月号から見直しをする必要がないということであれば良いのだが、今こうして少し提案いただいたところがあるので、考えていったら良いのではないかと。皆から意見をいただきたい。

○川上委員

多分特段出てこないと思う。出るなら手を挙げて言われたと思うので、見直しせずとも良いと考える。

○村武委員長

川神委員が来られた。今、議会だよりの紙面見直し案を提案いただいた委員に補足も併せて説明いただいたところである。川神委員からも提案をいただいているので、よろしければ願います。

○川神委員

私も浜田市の議会だよりは他市に比べて先端を行っていると思っているし、今まで過去の委員会でも見直し、中身の検討も十分してきたので、今問題があるとは思っていない。ただ、今後の展開として強いて上げたという感覚で書いたものであり、今すぐ必要という感覚はない。5月に即座に反映するとなると、また色々な形で新しくやっていかないといけないので、もう少しスパンは長くても良い。

○村武委員長

皆から提案いただいた中で、委員会活動レポートでは伝え切れてなかったり、市民対談に議会の視点が抜けていたりするとあったので、そこも併せて考えていきたいと思うのだがどうだろうか。結構大きな変更になるのだろうか。

○三浦委員

私の案も含めて、紙面構成を大きく変えるものは5月のこのタイミングでは難しいので、少し時間を変えて令和7年度4月に向けて考えておかないと。どちらにしても事業者を募集するので、その際の仕様や予算にも関わってくるので時間を掛けてやる。それと、ページの紙面構成など大きなものを変えない事項であれば検討したほうが良いのでは。例えば、市民対談をいきなりなくすことにはならないと思うので、市民対談をやる際には議会の視点をしっかり持とうということを経験してテーマ選びをしていくなどは全然できると思う。委員会レポートも、どこかの委員会を抽出してそこで行った視察や活動の報告をボリュームアップして伝えることはできると思う。その後、付け加えた意見として、だからといってほかの委員会のレポートを書かないのではないと思う。委員会がどうあるか、活動報告は常にどの委員会もしていくべきだと思うので、今はあのように各委員会が書くことになっているが、それで伝えたいことが伝え切れないという課題があるなら、どこかの委員会のボリュームを大きくして、ほかの委員会のことは議会だよりの紙面には載せないだけの話なので、その整理は今の段階でも議論はできる。中期的に考えなければいけない部分と、直近の紙面構成の中で改善できる部分、この二つを整理して、後者は議論していけば良い。

○村武委員長

三浦委員の今の意見について、皆の意見を聞きたい。

○大谷委員

5月の紙面に反映するためには2月19日に方向性を出す必要があるのであれば、今日の時点から約1か月しかない。そういったスケジュールの中で2月に新たな企画を盛り込むのは、我々の共通認識の醸成を考えると時間的にも厳しい。5月は従来どおりの方向性で先ほど三浦委員が言われたような、多少ボリューム感を変えるだけで済むことであれば可能だと思うので、そういう方向性が良いかと思う。

○川上委員

手を挙げて意見が出ないのだから、先ほどの意見でも良いのでは。私もそれで良いと思う。

○村武委員長

意見がないということだが、そうなるのであれば、市民対談や委員会レポートは、もう少し内容を考えていきたいと考えているので。あとはこちらの正副委員長と事務局とで、2月19日に向けて考えていきたいが良いか。

(「はい」という声あり)

紙面の見直しは時間を掛けて考えていかなければいけないところもあるので、しっかり時間を掛けて皆と協議しながら進めていきたい。良いか。

○西田委員

私には経緯が分からない部分があって見直し案を出してなかったのだが、今のままでも特段問題ないと思っている。最近の議会だよりの紙面は随分進化してきて、良くなっていると実感している。皆積極的に見直し案を出されているようだが、現状の中でどれくらい拍車を掛けてやっていくのか、私も少し分からない。

先ほど三浦委員が言われたが、業者を募集するというのは議会だよりの印刷業者か。毎年見直しているのか。募集されているのか。

○村山書記

毎年入札によって契約しているので、何者か入札に出てきて落札されたところになるので、場合によっては変わる場合がある。

○西田委員

当然浜田市内の業者で募集するのだろう。

○村山書記

そうなる。

○西田委員

何者あるのか。

○小寺主事

入札の実績では大体4、5者くらい該当する。応札が何者か、というところである。

○西田委員

以前は、議会だよりは浜田市内では大きく二つの業者がおられたので、交互に委託していた。そのイメージでいたのだが。今はその片方がやめられて、それだけ色々な業者がおられることが分からなかった。新たに業者を募集して、その予算を確保するために、今は色々高騰しているの、そのために議会だよりの紙面を削ったりしながら予算を少しでも確保していくための見直し案を出されるのなら、それでも理解はする。その辺がよく分からなかった。

○村武委員長

予算的などころも関わってはくると思うが、予算だけではなく内容。やはり市民にどれだけ関心を持ってもらえるかは考えていかないといけない。今の議会だよりの市民からは、読みやすくなったなど本当に好評いただいているが皆で検討していきたい。

(2) その他

○村武委員長

議会だよりについては以上で良いか。

(「はい」という声あり)

3 はまだ議会だよりのminiについて

(1) 第27号掲載内容及び原稿担当

○村武委員長

村山書記から説明をお願いします。

○村山書記

(以下、資料を基に説明)

○村武委員長

まずは掲載項目について決めたい。

(以下、担当記事決定のための協議)

大学生との意見交換会の記事が村木副委員長、議会改革推進特別委員会の記事は三浦委員、議員のつぶやきは西田委員にそれぞれ願います。

(2)その他

○村武委員長

そのほか、議会だよりminiについて何かあるか。

(「なし」という声あり)

4 議会報告会について

(1) 議会報告会の実施の検討

○村武委員長

村山書記から説明をお願いします。

○村山書記

(以下、資料を基に説明)

○村武委員長

昨年は会場をかなり増やして1会場に当たっての委員が少なくなったが、たくさんのところに行かせてもらった。令和6年度の議会報告会をどのようにするか、今から検討していかなければいけない。皆から意見をいただきたい。

まず、議会報告会をするかどうかを今日決めたい。意見を願います。

○川上委員

昨年も分散型でやって意外と好評だったので、ぜひ今年も分散型で行いたい。分散型で効果が上がってこなかったのが浜田と弥栄だけで、ほかは意外と効果があったかと思うので、よろしく願います。

○村武委員長

この件はできれば一人ずつ意見を伺いたい。

○上野委員

奥のほうでは1か所にすると移動が大変なので、できるだけ分散型が良い。

○西田委員

私も同じ意見である。細かく意見を聞くのに、できるだけ分散したほうがより細かい地域の意見が聞けると思っている。

○川神委員

私も同様であるし、報告会ではなくあくまでも広聴するスタンスで、お話を承る視点で実施するのが良い。分散にするメリットとデメリットもあるが、去年やっているうちにこういった形が良いと分かってきたところもあるので、もう1年その形を踏襲しつつ改善しながらやっていく必要があるかと思う。

○肥後委員

私も分散型で数をこなしたい。というのも、初めて来たとか思ったより良かったと

かという意見もあったので。ただそれと同時に、思いが伝わってないといった意見もあったので、続けることが大事だと思うので、また1年同じようにやりたい。

○大谷委員

分散型が良いとのことだが、続けるのであれば参加者がいなかった地域が何か所かあるので、広報の観点やあるいは分けていたところを状況によっては集約した形でやるなど、何らかの工夫が要るかと思う。それと、1か所に議員3人だと記録がしっかり取りにくい面があるので、改善が必要かと思う。報告書についても、報告会ということではなく意見聴取する意味合いで、こういう意見が出たという記録くらいにとどめ、執行権がない議会側から回答するのはなかなか難しいので、そのあたりの対応の仕方もいくらか見直せるところは見直した上で実施するのが良い。

○沖田委員

分散型で良いかと思う。今回、議会報告会とのことだが、昨年寄せられた意見の中で、しっかり意見が言えてよかったという回答が多かったように思う。恐らく、分散して言いやすい環境ができたと捉えている。なるべく広聴機能を充実させるのは大事だろうと思っている。その中で議会報告会という名前自体どうなのだろうという気も若干している。分散型で話を伺うということで、続けられたら良い。

○三浦委員

参加人数の実績や、昨年行ったアンケート等を踏まえ、昨年と同様な形式で行うのが良いと思っている。

○村木副委員長

参加人数を見ても令和元年に比べて多くなっている。ただ費用弁償がそれ以上に掛かっているというのが気にはなるが。もう1回分散型でやってはどうかと思う。

○村武委員長

皆の意見を伺うと、分散型でやれば良いのではという意見が多かったように思う。ただ、会場数や昨年と同じところに行くかなどは少し検討しないといけないかと考えているがいかがか。

○川上委員

昨年も分散してやって、確かにゼロ人だったところもあるが、そこについては今後の広報の方法を考えれば良いのであり、これだけの数これだけの箇所でも再度やっても良いかと思う。

○村武委員長

前回と同じ会場で良いか。まちづくりセンターはそのまま会場にして良いと思う。

○川上委員

それを検討するのは浜田地域だけである。ほかの地域はまちづくりセンターでやってこれだけ集まるのだから十分である。必要であれば浜田は浜田で検討してみしてほしい。

○村武委員長

子育て世代の意見を聞くという意味では、すくすくで開催したのはとても良かった

と思うが、参加者が少なかった点はもう少し検討していかなければいけない。では、大体昨年と同じような感じで良いか。

(「はい」という声あり)

実施する時期だが、大体5月、6月くらいで考えているが、そのあたりはいかがか。

(「異議なし」という声あり)

では分散型で、実施時期は5月から6月。細かいところはもう少し考えていかないといけない。あと、分散型にすると議員の数が少ないと、先ほども負担感があるとの意見があったが、そこはいかがだろうか。

○川上委員

一部負担という話があったが、私が行ったところではそれで十分賄えたし、意見聴取もしやすかったと思っている。去年と一緒に良いかと思う。

○川神委員

意見をしっかり広聴するのがメインなので、人数は多いに越したことはないかもしれないが、昨年同様の規模感でも十分対応はできるのではと思っている。

○西田委員

昨年来なかったところがあるが、開催する知らせはしても動員を無理にしない。これまでの議会報告会もそうだったが、動員をいかに掛けるか掛けないか、そこが人数に影響してくる。いつも同じような顔ぶれが参加されるというのは、動員を掛けやすい人に声を掛けるからであって、特別動員をしていないところは来られてないケースもあった。動員をしっかりと掛けて一人でも来てもらうのが良いのか、それとも自然体が良いのかと思うところはある。その辺はちょうど良いバランスで、事前にしっかり広報しておいて、来てもらえそうな人には来てもらえるよう準備しておくことも大事かと思う。

○村武委員長

動員というよりも、声を掛けるということ。案内をしてみたり、来てみてといった声掛けは必要だと思う。協働のまちづくり推進委員会でのヒアリングなどもして、少し議会との関係性もできてきていると思うので、そういったところも通じて声掛けなどもしていけたら良いとは感じている。

大谷委員は3人だとしんどいとの話だったが、いかがか。

○大谷委員

感じたのでそう言ったのだが、3人でやれと言われれば3人でやるしかないと思う。進行してその際の記録を取り写真を撮り、回答はしなくて良いのであれば3人でも良いが、どうしても問われて回答を求められたときに、自分の守備範囲が薄い部分については明確に回答できないので、持ち帰りになる。丁寧にお答えするためにはそういう作業は必要になる。広聴機能を充実させるという意味で、お聞きして帰る程度であれば大分違ってくるとは思うが。そのあたりのやり方、中身について改善がなされるなら良い。

○村武委員長

多くの議員が昨年と同じような形で良いとの意見だったかと思う。回答については少し考えていけないといけないとは思いますが。人数的には昨年と同じ形で良いか。

○沖田委員

人数を増やしても記録を取る負担はそれほど変わらないと思う。なぜなら来場者数に関わらずしゃべるのは一人ずつだから。したがって人数を増やしても根本的な解決にはならない。去年3人でやったが負担感はそれほど変わらないとは思った。

○大谷委員

とりわけ困ったのは、答えるところについては私の場合はまだ浅いので十分に熟知してない部分もあったのでお答えできない部分があって、期数の多い先輩にお願いせざるを得ないところもあった。議長も来ていたので議長に答えてもらった部分もある。そういう点は進行する上では救われた思いがする。そういう意味では3人より4人が良いと、経験としては感じた。今後もそのあたりがスムーズにできるのであれば、3人でも良いかと思う。

○村武委員長

チーム内でサポートし合うのは大切だと思う。私は昨年と同じ形でやれば良いと思っている。一応そういう形で進めていきたい。よろしく願います。また詳細については今後皆と協議していきたい。

併せて、以前こういった議会報告会をオンラインでやったらどうかという意見もあった。オンラインだけでやるか、リアル会場とオンラインとを一緒にするか、2パターンあると思う。皆に意見があれば聞きたい。

○大谷委員

地域でするので、その必要性はないのではないか。

○西田委員

一つのテーマや議題で、それだけをやるならオンラインでも良いと思うが、色々な広聴機能を発揮しようと思えば直に顔や表情を見ながら感じ取るものがあると思うので、地域に行ったほうが良い。

○村武委員長

オンライン会場を設けるというのも一つの案だとは思いますが、今回はリアルで、昨年と同じ形で良いかと思う。今後、例えば子育て世代の方などなかなかリアル会場に行きにくい方ももしかしたらいらっしゃるかもしれないので、お声があればオンラインを考えても良いかと思う。

○三浦委員

人数が限られているため、併用というのはなかなかオペレーション上難しいと思う。やるのであればオンラインを別途、会場に行くのが難しい人のための場として設けても良いと思う。会場に来ている人にアンケートを取ると、オンラインは必要ないという回答が多くなってしまおうと思うが、そのニーズがどれくらいあるのかも含めて検討したら良いのではと思う。

○村武委員長

今後調査もしていかないといけないと感じている。オンライン会場に関しては、また今後検討していきたい。

テーマを設定するかどうかについてはどうか。そういう細かいことはもう少し後にするか。

(「はい」という声あり)

ではそこはまた検討していきたい。

(2) その他

○村武委員長

議会報告会について、ほかに何かあるか。

○大谷委員

今後も議会報告会という名称で行くのか。中身的に変わるのであれば名前を変えるのも手だと思うが。議会基本条例の中に議会報告会とあるので、そこから来ているかとは思いますが、それはそれとしながらも、やる実態がずれてくるのであればどこかで修正もありかと思う。

○村武委員長

言われたように議会報告会は条例に入っている。そういった役割だが開催されているものに関しては、地域井戸端会という名前だったかと思う。条例の中の名称を議論したほうが良いということか。

○大谷委員

であるならば、例えば地域井戸端会（議会報告会）というように、主たるものが前面に出たほうが、お互いが認識しやすいし論議もしやすい。議会報告会という名前が常にあると言葉のイメージが頭に引っかかって論議しにくいと感じたので申し上げた。

○村武委員長

こういった議論をする中で、ということか。

○大谷委員

はい。

○村武委員長

それについてはこちらで協議したい。

○小寺主事

昨年も議論の始まりは「議会報告会をどうするか」だった。条例上も「議会報告会等」としているの、そういった機会を設けることについて総称的な名称で条例の中では定めているところである。去年は協議の中で「地域井戸端会～皆さんの声を伺います～」という名称でやろうと決めて進めている。また改めて、会のタイトルをどうするかは皆と相談できれば良いかと思っている。

○村武委員長

また今後詳細を決めていきたい。また会派や委員会で、議会報告会について意見などを聞いてもらい、この委員会を出していただけたらと思うので、皆検討をよろしく

お願いする。

議会報告会については以上で良いか。

○小寺主事

昨年はこの議会報告会のやり方をどうするかを当委員会で協議した後に、全員協議会で全議員に向けて、議会広報広聴委員会としてはこのように考えているがどうだろうかと意見を伺った経緯がある。今回も2月6日に控えている全員協議会にて委員長から、今の議会広報広聴委員会での検討内容を説明させていただき、全議員の意見を伺う方向性で良いか。

○村武委員長

良いか。

(「はい」という声あり)

ではそのようにしたい。

5 その他

○村武委員長

村山書記からお願いする。

○村山書記

次回開催を2月19日月曜日、13時半から予定させてもらっているが、皆の予定は良いか。

(「はい」という声あり)

内容としては、ぎかいポストに寄せられた意見の振り分けなので、また、ぎかいポストの内容回収をお願いする。LINE WORKSにて連絡する。

併せて、議会だよりV o 1 . 73、議会報告会の内容についてを議題に上げている。

○村武委員長

ほかの皆は2月19日は大丈夫だろうか。

(「はい」という声あり)

では次回は2月19日月曜日、13時30分からお願いする。本日の議題は以上だが、皆からほかにないか。

(「はい」という声あり)

では議会広報広聴委員会を終了する。

[14時 55 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 村武 まゆみ